

生麦第二地区 社会福祉協議会だより

発行：生麦第二地区社会福祉協議会 会長 飯島正敏 2026年8月

生麦第二地区社会福祉協議会は、「支え合い、助け合いのあるまちづくり」を目指し、自治会・町内会や関係団体と協力しながら、高齢者の見守り活動や地域交流、福祉講演会、買い物支援など、地域に根ざしたさまざまな活動を行っています。

7月12日 社会を明るくする運動講演会を開催しました

会場：寺尾小学校 体育館

「こどもの声を聴く ～データから見る子どもたちの今～」

講師：生麦中学校 校長 小倉 孝之さん

小倉校長からは、子どもたちを取り巻く現状についてお話しいただきました。



- ・ 小・中学生の自殺が増加していること
- ・ 生きづらさや孤独を感じている子どもがいること
- ・ 「自分は必要とされている」という実感が、子どもの心の支えになること
- ・ 人とのつながりをSNSだけに求めることで、事件やトラブルに巻き込まれる危険性が高まること

子どもたちの小さな変化に気づき、地域全体で見守ることの大切さを改めて考える機会となりました。

講談師 神田 松麻呂さん

「講談とはどんな話芸か」

参加者の多くは、講談を初めて鑑賞する方でした。松麻呂さんは「責任を感じますね」と笑顔で話しながら、

身近な話題を交えて講談の魅力を分かりやすく紹介してくださいました。



地域で広がる「移動販売」の取り組み

生麦第二地区では、買い物支援と地域の交流の場づくりを目的に、移動販売に取り組んでいます。

開催状況

① 生麦住宅

2025年3月開始。毎回約30名がご利用になっています。生麦住宅：毎週金曜日 10:30~11:00

② 岸谷地区集会所

2025年12月開始。毎回約20名がご利用になっています。

岸谷第四自治会：毎週金曜日 11:45~12:15

③ 池谷戸地区集会所

ウエイズトヨタ神奈川様のご協力により駐車場をお借りし、2026年4月28日に開始しました。現在は毎回20名前後の利用があり、順調に定着しています。池谷戸自治会：毎週火曜日 15:45~16:15



「買い物の場」から「交流の場」へ

移動販売の開始にあたっては、それぞれの自治会で話し合いを重ね、開催に至りました。実際に始めると、「久しぶり！」「元気にしてた？」といった会話が自然に生まれ、「近所の方と情報交換ができて楽しい」という声も聞かれるようになりました。買い物に不便を感じている方々に大変喜ばれているだけでなく、近所に住んでいても顔を合わせる機会が少なくなった今では、人と人とのつながりを育む大切な交流の場にもなっています。これからも地域の支え合いを広げる取り組みとして、継続していきたいと考えています。



協力 生麦第二地区自治連合会
協力 鶴見区社会福祉協議会
協力 東寺尾地域ケアプラザ